

みんなで決めよう！企画決定会議 要点録

1. 企画決定会議についての説明（図書館長 渡邊）

投影資料：「企画決定会議 投影資料」参照

- ・市民の皆様から募集したイベント企画を実施決定する会議。
図書館は事務局となり、どんなイベントを実施するかみなさんと一緒に決めていく。
- ・7～12月までに実施するイベントを3月に募集した。応募いただいた企画は22件。
この22件から実際に実施するイベントを決めていく。
- ・今回決めることは以下の3つ。
 - ①実施企画の決定方法
 - ②実施時期、実施企画
※実施が決定した企画については実現に向けて図書館と協議を進めるが、企画書に記載されている全ての内容が実現できるとは限らない。
 - ③今後の流れ（スケジュール）の確定

2. 図書館デザイン会議 振り返り（企画運営担当主査 米山）

図書館デザイン会議 報告（HP）参照

3. 実施企画の決定について

- ・いくつかの図書館を参考に、多摩市立図書館での企画決定方法を決定したい。
- ・発表と質疑応答、相談を行い、話し合いのなかで中心となり一緒に運営できるメンバーを2名以上集めることが出来れば、その企画は一次決定とする。
- ・開催月に対し、一次決定した企画が多ければ全員で多数決を行う。
- ・まずはこの方法で進め、9月に行う（仮）振り返り会議で改善をしていきたい。

4. 提出された企画を見てみよう（各企画1分で企画者が発表）

5. 質疑応答、話し合い、実施時期の確定

- ・一緒に運営する運営メンバーの決定。
※運営について
当日の準備だけでなく、開催に関わる広報、事前準備等も含まれる。
図書館との打ち合わせやチラシの作成、当日使用する資料の準備等も「運営」に入る

ため、運営中心メンバーとして複数名乗り出てもよいが、責任をもって運営すること。

図書館の役割についてはイベント募集要項（４）に記載した通り。

- ・複数開催、定期開催で提出している企画は時期の決定をするように。
- ・企画者同士が話し合い、一緒に開催してもよい場合は合同開催を検討も可とする。

6. 実施企画の決定

- ・一次決定した企画の確認。
- ・月ごとの実施個数に対し、一次決定した企画が多い場合は多数決を行い実施企画を決定。
※多数決のルール：「図書館でどちらのイベントを実施して欲しいか」という観点で、各月１つだけに手を挙げる。
- ・多数決後、7～8月は各月3件、9～12月は各月1件の計10件を採用した。

・7月 一次決定企画4件のうち3件採用

- 体感！絵本の世界 『めずらしいお仕事』を想像して創造してみよう！
- 夏休みの宿題の相談にのります
- ライブラリートーク「未来ビジョン！市民のための図書館の未来を語ろう」

・8月 一次決定企画4件のうち3件採用

- 学校図書館の支援を支える市民ワークショップ part1 学校図書館を知ろう
- 本棚からの朗読 夏
- 想いを言葉に。言葉で紡ぐ楽しさを知ろう。

・9月 一次決定企画2件のうち1件採用

- 天文学者×フラダンサー（異業種のコラボ）『大人の癒し～心が豊かになる休日』
今回のお題は『ハワイの月と星』

・10月 一次決定企画1件のうち1件採用

- 多摩市の図書館をつくってきた人たちの紹介と現在の図書館の職員の紹介

・11月 一次決定企画1件のうち1件採用

- 「本の世界からとびだそう」（物語を読み解いて、言葉と体で伝えよう）

・12月 一次決定企画2件のうち1件採用

- 紙にこだわる！ 自分で書いて作った本を図書館に！！

7. 今後の流れについて

- ・実施決定した企画については、示したスケジュールの通り図書館と共に進めていく。
まずは5月10日（金）までに、図書館との打ち合わせを進める。
- ・次回の（仮）振り返り会議については、実際に企画募集から企画実施までの流れを行ったうえで、今後どのように進めていくかを振り返りながら決定していく。

日時案を3つ出しているのですが、現時点で出席ができる人が多い日時にしたい。

候補①休日の午前（10:00～12:00）

候補②休日の午後（13:00～15:00）

候補③平日の夜（17:30～19:30）

⇒多数決の結果、候補①に決定。

- ・現在図書館では、「(仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画」の策定を進めている。
9月の振り返り会議では皆さんにも意見を伺う予定のため、協力をお願いしたい。

8. 全体を通しての意見・感想（意見まとめ：図書館）

参加者1

図書館デザイン会議の目的として、「実現するための仕組みを考える」とあったが、仕組みを考えるということができているのか。

パートナーズのような仕組みの検討を想像していたが、振り返りの時に検討があるのか。

図書館長

確かに今後「仕組み」という部分で考えることも必要である。

今回はイベント企画に限定して募集を行ったが、今後様々な図書館との関わり方の仕組みを検討していく中で、団体の設立等が必要であればみなさんと考えていきたい。

中央館開館イベント時も多くの方から企画を提出いただいたが、様々な立場の方がいたため、人によって図書館との関わりも様々である。図書館として、どうすれば「やりたい」ことを実現できるのかを検討するうえで2～3月にワークショップを行った。

今回1周年の企画を検討する中で、ある程度図書館としてやり方を提示したうえで決めた部分があるので、9月の振り返りでは不都合だった点やもっとこうしたほうが良いのではないかという点を話し合いたい。

この事業は今後も続くので、市民の皆さんと共により良い方法を検討していきたい。

参加者2

多数決で決定したものについて、選ばれなかったものも今後実現できる方法があれば良いと思う。進めていく中で慣れていく部分もあると思うので、9月の振り返りの中で、敗者復活戦など「これならできるのではないか」という部分を検討していきたい。

多数決で結局選ばれないということが続くと、企画自体も提出する数が少なくなってしまいう可能性もある。今後も様々なチャンスがあるということを検討していきたい。

参加者3

「ライブラリートーク」について、様々な使い方ができるので、まず練習としてライブラリートークでやってみるなど、様々な協力ができればと考えている。